

教科シラバス(1年国語科)

教科名	国語	科目名	国語総合	学年	1年(一般・習熟)	単位数	5
教科書と副教材			新編国語総合、学習課題ノート、国語便覧、漢字トレーニング、解析古典文法、漢文句法演習ドリル、古文単語330、国語辞典(書籍)、古語辞典・漢和辞典(電子辞書可)				
1. 科目目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。						
2. 学習方法	<p>(1)授業の持ち物について:教科書、副教材、ノート 現代文:教科書、学習課題ノート、国語便覧、漢字トレーニング、国語辞典(書籍) 古典:教科書、学習課題ノート、国語便覧、解析古典文法、漢文句法演習ドリル、古文単語330、古語辞典、漢和辞典</p> <p>(2)予習の仕方について 前もって、次回授業の教科書1段落分程度を読んでおきましょう。</p> <p>(3)授業の受け方について<授業では、授業内容が「わかる」ことを心がけましょう。> ア 授業は集中し、先生の説明をよく聞いて、板書を早くノートに正確に写すことを心がけましょう。 イ 先生の発問に対して必ず自分で考えましょう。</p> <p>(4)家庭学習の仕方について <家庭学習では、「わかる」から「できる」にまで理解を深めることを心がけましょう。> ア 授業で習った箇所の教科書を読み返してみよう。その際、重要事項等ノートに書きこんで、後で見直して授業内容が思い出せるノートにしておきましょう。 イ 宿題は、出された当日に必ず自分の力でやりましょう。 ウ 漢字テストや古文テストなどの準備は満点をとれるように勉強しよう。 エ 教科書準拠の問題集に取り組み、内容を理解しておきましょう。</p> <p>(5)質問の仕方について 分からないことは早めに担当の先生に尋ねよう。授業時間内の質問でも、放課後等でも質問することは可能です。</p>						
3. 学習評価	学習評価は、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、提出された課題、学習態度等によって行います。特に、課題の提出については、学習評価の必須条件です。従って期限内未提出の場合は、当該科目が未認定になることもあります。						
4. 学習サポート	<p>(1) 毎日の授業後、必ず宿題が出ますので必ず家でやりましょう。</p> <p>(2) 小テスト・提出物はすべて得点化されて成績に入ります。期日を守って提出しましょう。</p>						